秘蔵酒巡りとおつまみマルシェ

古川で来月3日に「飛騨三蔵まいり」

飛騨市の全3酒蔵の日本酒を楽しめるイベント「飛騨三蔵まいり」が11月3日、同市古川町のまつり広場で開かれる。切磋琢磨する蔵元同士が新酒の季節にタッグを組み、特別な酒を造って地域を盛り上げる。

3酒蔵は古川町の渡辺酒造店と蒲酒造場、神岡町の大坪酒造店。古川町で毎年1月15日にある「三寺まいり」にあやかり、市観光協会とともに催して4回目。開催日は「いい三つの蔵」の語呂合わせにちなんだ。

千円のチケットを購入し、各蔵の「秘蔵酒」を記念おちょこで6杯飲めるほか、日本酒で作ったスイーツも販売。おつまみを取りそろえるマルシェには、能登半島地震で被災した輪島朝市の出店者も参加する。

広場では、各蔵の代表銘柄である「蓬莱」「白真弓」「神代」を独自の比率でブレンドした記念酒を339本限定で発売する。720ミリリットル入り1本1800円。古川町の2酒蔵や広場ではコンサート、飛騨古川まつり会館では古川祭の屋台の入れ替えもある。

3酒蔵の社長が16日、イベントをPR。ブレンドを担当した渡辺酒造店の渡辺久憲社長は「青リンゴのような爽やかさがありつつキレもある過去一の酒に仕上がった。冷やでもかんでも最高においしい」とアピールした。（坂本圭佑）



各酒蔵の代表銘柄と記念酒を手にイベントをPRする社長たち＝飛騨市古川町で